

○【稲荷神社】…馬場通りを200～300m東へ行くと小高い所に、天正三年(1575) 島津方の伊集院魯笑齊久道が島津を誇示するために島津の氏神である稲荷神社を建立しました。同神社の鳥居は大正三年(1914)の大噴火により埋まり、【埋没鳥居】と呼ばれています。



▲埋没鳥居

○【飾磨】…平家の落人たちが姫路の塩田のある飾磨を偲んで付けた所と言い伝えがあります。

○【温泉場】…昔は河内の冷泉を引いて沸かし、村の人々が利用していました。

○【居世神社】…居世神社は欽明天皇の皇子とも、また一説には安徳天皇をお祀りしているとも伝えられる神社です。宇喜多秀家公が日参されたと伝えられています。

居世神社の東約200mの所に【小鳥神社】があり、ここで茶毘に付され、埋葬された所が【陵】であり、それより約300年後に居世神社が建立されました。神社の宝物は懸仏11面観音像です。また、宇喜多秀家公の奉納品、なぎなた・山なぎなた・盆・杯・木皿が奉納されましたが、現在は消失しています。



▲居世神社

○【河内の湯】…この冷泉は昔から切り傷やできもの等に良く効くと言われており、十数年前の水害で埋まってしまいましたが、最近その跡が少し見えてきました。

○【道の駅たるみず】…平成17年4月に開設された「湯つ足り館」は、日本最大級の足湯や温泉、旬の食材や鹿児島の特産品などが揃う物産館、レストランを併せた観光施設です。松ヶ崎のびわ等の販売も行われ、市外や県外の来館者も非常に多く、休日はたくさんの観光客で賑わっています。



▲道の駅たるみず

○【弁財天】…弁天様は七福神の1人で、言い伝えによると弁天様の前で躓けば片袖切って弁天様に捧げねばならないとされ、それは弁天様が片袖なしの着物を着ているからと伝えられています。



▲弁財天

○【口輪(クッパとも)】…平家は7を縁起として良く使いました。そのためこの部落は古くより7戸有って増減が無かった曲輪から来た言葉ではないかとされています。これは城に築いた石垣の囲いを指し、内側を内郭、外側を外郭といいます。ここは入船城からして外郭で近臣たちが陣をとって、来る人々を掎めた所です。